

ZEPEAL

ゼピール リビング扇風機(羽根サイズ30cm)

DL-A312

[3時間切タイマー]

取扱説明書(保証書付)

このたびはリビング扇風機をお買上げいただき、誠に有難う御座いました。

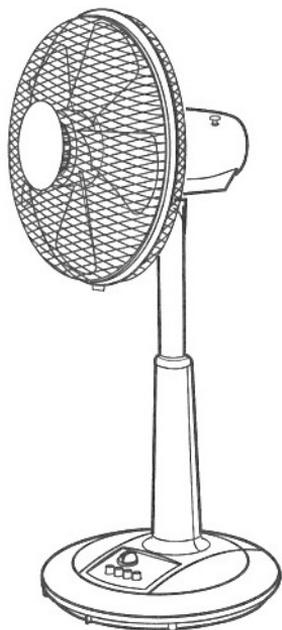
ご使用前に、この取扱説明書(保証書付)をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

万一ご使用中に分からないことや不具合が生じたとき、きつとお役に立ちます。

もくじ

安全上のご注意	1~2
各部の名称と使い方	3
組み立て方	4~5
操作のしかた	6
特に注意していただきたいこと	6
お手入れと保管	7
長年ご使用の扇風機はよく点検を	8
アフターサービスについて	8
仕様	8
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	9



●イラストと実際の商品は多少異なる場合があります。

●この扇風機は、一般家庭用です。他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因となります。

●この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY

⚠ 注 意

交流100V以外では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

本製品は、一般家庭用です。次のような所では使わないで下さい。感電、火災、破損、故障の原因になります。

- 温室やビニールハウスなど湿度の高い所、雨や水しぶきがかかる所。
- 工場内などの油のつきやすい所。
- 有機溶剤を使用している所。
- 砂ほこり、綿ほこり、金属粉の多い所。
- 室外や40℃以上の高温になる所。
- ガスレンジなど炎の近くや、引火性のガスのある所。

髪をガードに近づけすぎない。
髪が巻き込まれてけがをする恐れがあります。

畳、床面などでベースを引きずらない。
畳、床面などを傷つける恐れがあります。

風を長時間からだにあてないでください。
健康を害することがあります。

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードや電源プラグがいたんだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。電源コードを束ねてある結束バンドは必ずはずしてお使いください。

ガードの中や可動部へ指などを入れないでください。けがをする恐れがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。

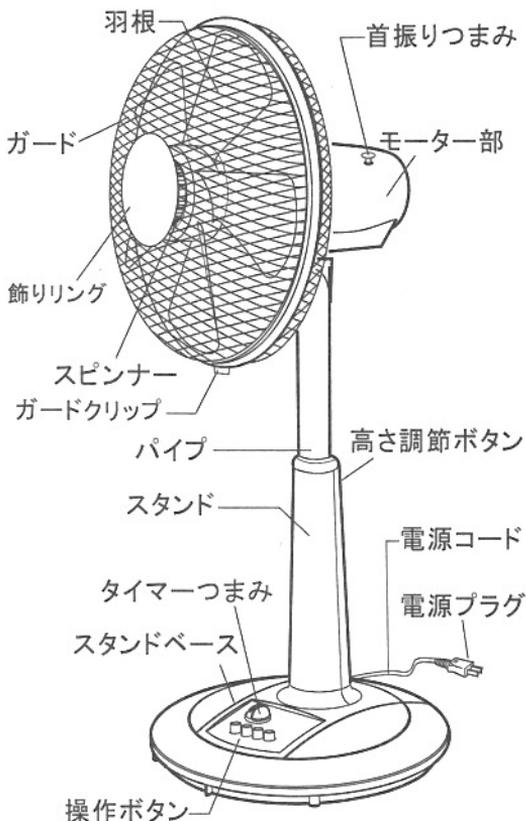
使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

本体に異常（大きな騒音や大きな振動など）が発生した場合は、ただちにご使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。

電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

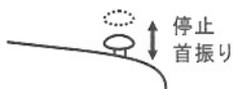
「各部の名称と使いかた」

お願い カーテンなどの障害物の周囲や不安定な場所をさけてご使用ください。



首振り

首振りつまみを下へ押すと首振りを始め、上へ引き上げると停止します。



風向きを変えるには

スタンド部を軽く押さえて、モーター部を上下・左右に動かしてください。

●カチカチと音が出る範囲まで調節できます。



⚠ 警告

使用中(羽根の回転中)に、ガードを持って、上下、左右に風向きを変えない。ガードを持って、強く操作すると、羽根がガードにあたる場合があり、羽根が破損し、ケガをする原因になります。

高さを調節するには

高さを調節する場合は、図のように片手でパイプを持ち、もう片方の手で高さ調節ボタンを押しながら、パイプの高さを調節してください。



転倒による羽根破損に注意

強い衝撃や落下により、羽根が破損するおそれがあります。使用中やお手入れの際は十分にご注意ください。

「組み立てかた」

お 願 い

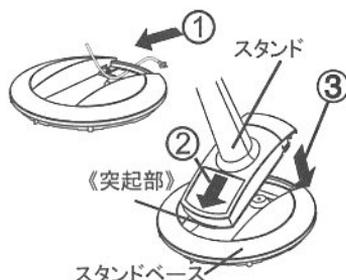
- 包装部品は扇風機を保管するとき、必要となりますので、捨てないでください。
- 羽根に貼り付けてある「羽根マーク」は、はがさないでください。
- ガード止めナットとスピナーはネジ山に注意し、かたむきのないようしっかり締付けてください。
- 羽根をつけずにモーターを運転しないでください。温度過昇防止装置が働き、使用できなくなる場合があります。

1～6の順番で組み立ててください

1. スタンドベースとスタンドを組み立てます

スタンドは単体では立ちません。組立て前は必ず横向きで置いてください。スタンドとスタンドベースを組み立ててから、後ろガード、羽根、前ガードを付けてください。

- ① 平らな安定した場所にスタンドベースを置き、電源コードをベースの後部穴へ通してください。
- ② 平らな安定した場所に置いたスタンドベースにスタンドの《突起部》を差込みます。
- ③ スタンドをスタンドベースに「カチッ」と音がするまで押し込みます。



注意 スタンドをスタンドベースに差し込むとき、高さ調節ボタンを押さないように注意してください。

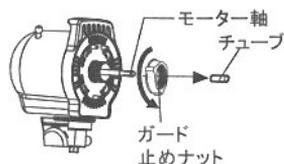
2. スピナーをはずす

- 回り止めピンを押さえて回らないようにして、スピナーを右(矢印の方向)へ回してはずして下さい。



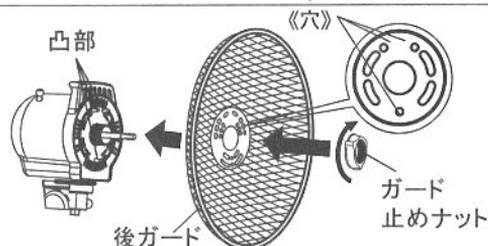
3. ガード止めナット、チューブをはずす

- ガード止めナット、モーター軸のさび防止用チューブをはずしてください。
- ガード止めナット、スピナー、チューブは保管の際本体に装着して下さい。



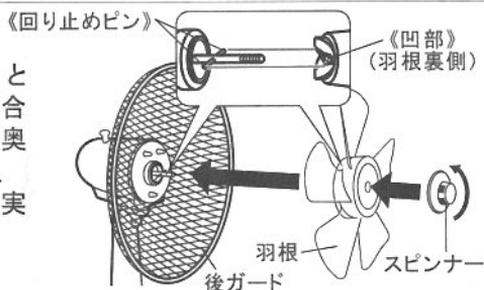
4. 後ガードの取り付け

- 後ガードの穴をモーター部前面の凸部に差し込み、「ガード止めナット」を右に回して、確実に締付けてください。



5.羽根の取り付け

- モーター軸の「回り止めピン」と羽根裏側の「凹部」の向きを合わせて、羽根をモーター軸の奥まで差し込み羽根を押さえながら、スピナーを左へ回して、確実に締付けてください。



6.前ガードの取り付け

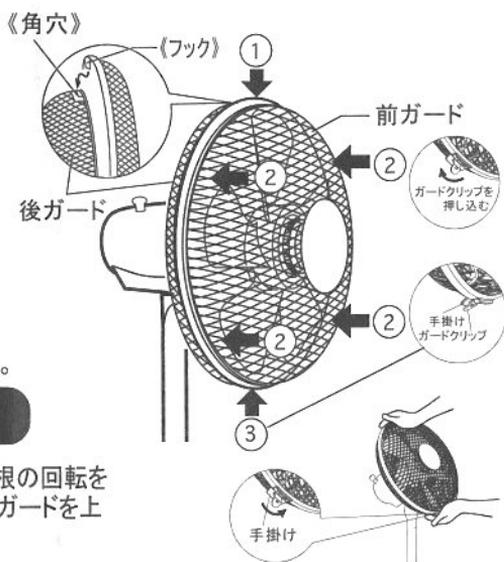
- ① 前ガードの《フック》を後ガードの《角穴》に合わせて掛けます。
- ② 前ガードを押さえて、全周を後ガードに確実にはめ込み、固定してください。

注意 この時、あまり力を入れすぎるとガードが変形するおそれがありますので、力を入れすぎないようにご注意ください。

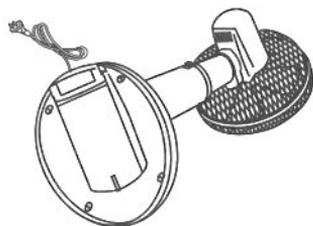
- ③ 《ガードクリップ》は前ガードと後ガードを挟み込むように、「パチン」と音がするまで確実にとめてください。

前ガードのはずしかた

- 電源プラグをコンセントから抜き、羽根の回転を止めてからガードクリップを、はずし、前ガードを上から押さえ、手掛けを手前に引きます。

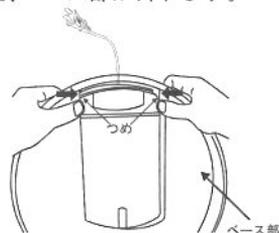


ベースの取り外し方



- ※ 作業にあたっては電源プラグをコンセントから抜いて下さい。指をはさんだりしないように、ご注意ください。

- ※ つめを下図矢印のように両手の指を同時に中心にむかって軽く押すとベースからつまめがはずれますので、そのまま静かにベース部を手前に引くと、ベース部が外れます。



「操作のしかた」

操作パネル

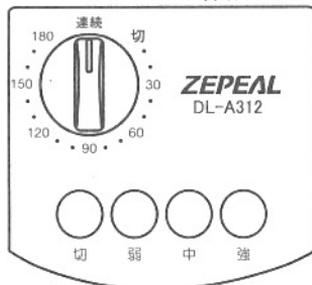
- ①タイマーつまみが「連続」の位置になっていることを確認してください。
- ②お望みの風の強さに合わせて操作ボタンを押してください。

タイマーつまみ

タイマーつまみを右に回してお望みの時間（最大約180分）に合わせて、お好みの風量「弱」・「中」・「強」をお選び下さい。

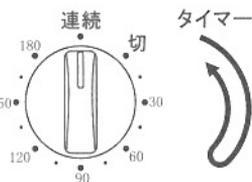
セットした時間になると自動的に羽根の回転が止まります。

操作パネル



ご注意

- セッ時間が30分以内の場合はいったん「60」ぐらいまで回してからお望みの時間に合わせてください。
- 通常はタイマーつまみを「連続」に合わせておいてください。「切」の位置では羽根は回転しません。



「特に注意していただきたいこと」

- 羽根、ガードをつけないで高さ調節ボタンを押したりモーターを運転しないでください。

モーター部が急にはね上がり、けがをする恐れがあります。温度過昇防止装置が働き、使用できなくなる場合があります。



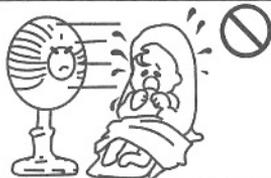
- 運転中は絶対にガードの中へ手や、物を入れないでください。特に羽根の裏側は危険です。

けがをしたり、破損したりします。特に小さいお子さまには注意してください。

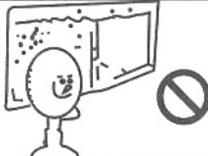


- 乳幼児、お年寄り、病気の方には長時間直接風を当てないでください。

健康によくありません。お休み前にはタイマーを使用し、壁などに風を向けて反射風を利用しましょう。



- カーテンなどを吸い込んだり、首振りがさまたげられたりしない安定した場所で使用してください。転倒したり、モーター不良の原因になります。



「お手入れと保管」

⚠ 警 告



羽根・ガードをつけずに高さ調節ボタンをおしたり、モーターを運転しないでください。けがをする恐れがあります。



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差ししないでください。感電やけがをすることがあります。

〈お手入れ〉

羽根・(前、後)ガードに埃が多量に付着しますと異常音・振動・モーターの過熱の原因になります。組立と逆の順序で分解し、清掃してください。

- 汚れは、水かぬるま湯でうすめた中性洗剤に浸した柔らかい布をかたくしぼってふき、さらに乾いた柔らかい布で洗剤が残らないようにふき取って下さい。

お 願 い

- お手入れには中性洗剤を使用してください。シンナー・アルコール・ベンジンなどは使用しないでください。破損・変質の原因となります。



- 化学雑巾を使うときは、その注意書きに従ってください。

- 危険防止のため、羽根に貼り付けてある「羽根マーク」は、剥がさないでください。
- スプレーをかけないでください。〈掃除用、殺虫用、整髪用など〉破損・変質の原因となります。



〈保管〉

羽根を正面に向けて、組立と逆の順序で分解してください。(正面に向かない場合は無理にもどさず、首振りさせて正面に向けてください。)

- 〈お手入れ〉の方法に従って、お手入れしてください。
- モーター軸の汚れを取ってミシン油などをうすく塗り、チューブをかぶせてください。(さびの防止)
- 包装ケースに納め、湿気の少ないところに保管してください。

長年ご使用の扇風機はよく点検をお願いします。

★こんな症状はありませんか？

- スイッチを入れても羽根が回らない。
- 羽根が回っても回転がおそかったり不規則。
- モーター部が異常に熱い。
- 異常な音がする。
- コゲくさいにおいがする。

★異常があれば

ご使用中止！！
すぐに電源プラグを抜いて
事故防止、モーターの焼損
防止のために必ず販売店
にご相談ください。

アフターサービスについて

- ① この製品は保証書がついております。お買い上げの際に販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- ② 保証期間はお買上げ日より1年です。保証書の記載内容によりお買上げ販売店が修理を承ります。その他詳細は保証書をご覧ください。
- ③ 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。
- ④ 扇風機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ⑤ アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店か本書に記載の(株)電響社へお問合せください。

仕 様					
電圧 (V)	周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風速 (m/min)	風量 (m ³ /min)	質量 (kg)
100	50	40	180	40	約3.0
	60	45	185	42	

上記のデータは強風時点の数値です。

※商品の仕様は、品質向上、製品改良のため、予告なく変更することがあります。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。

【製造年】(本体に西暦4桁で表示してあります)



※【設計上の標準使用期間】 6年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件

日本電機工業会自主基準 HD-116-3による

大項目	中項目	小項目	備考
環境条件	電圧	100V	機器の定格電圧による
	周波数	50Hz及び60Hz	
	温度	30℃	JIS C9601参照
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	機器の取扱説明書による
負荷条件		定格負荷(風速)	機器の取扱説明書による
想定時間等	1日あたりの使用時間	8 (h/日)	
	1日使用回数	5 (回/日)	
	1年間の使用日数	110 (日/年)	
	スイッチ操作回数	550 (回/年)	
	首振運転の割合	100 (%)	

● 「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。



本社：〒556-0006大阪市浪速区日本橋東2丁目1番3号

フリーダイヤル: 0120-070-440

受付時間：9:00～17:00（土曜・日曜・祝日・当社休日を除く）